



本年も ともに飛躍しましょう！

代表理事一同・事務局長



2012・一年の計

代表理事・水野 映一郎

新年明けましておめでとう御座います。

昨年に引き続き2012年も、活動を強め発展させなければならない課題が山積みしています。

① 沖縄・全国のたたかいと連帯し日本に在る米軍基地の全面撤去。② 東海第2原発の廃炉を求めるたたかい。③ 県平和委員会の組織を1100名にする運動の強化など、諸課題を前進させるため全力を尽くさなければなりません。

3.11の災害・原発事故によって、広島・長崎につき日本は、ふたたび放射能の脅威にさらされています。今や核兵器の全面禁止・原発廃炉を求める運動が、大きなうねりとなって全国各地に広がっています。

県平和委員会は、これらの運動を前進させるため「仲間を増し」数の力をもって全ての運動の先頭に立とうではありませんか。

謹んで初春のご挨拶を

申し上げます。

2012年 新春



苦難乗り越え新しい出発の年

代表理事・植田 金雄

明けましておめでとうございます。

会員の皆様、お元気で新年を迎えられたことと思います。

昨年は、東日本大震災・福島原発過酷事故という大災害を経験し、呆然自失の思いを抱いた方も多かったことでしょう。国の在り方が根本から問われた年でした。

2012年は、その大きな変化・経験を経て、何としても平和への思いを叶えるため新しい出発点としましょう。

今年も脱原発と沖縄問題が、引き続き大きな課題になると思います。

会員のみなさまが健康で、伸び伸びと活躍できることを願っています。

ちからを合わせ頑張ろう

事務局長・木村 泉

昨年は東日本大震災と福島原発事故一色でした。

未だに10万人余の福島の人たちが、故郷から引きはがされ、帰郷の目処も立っていません。

政府は、事故の実態も明らかにならないまま原発事故の収束宣言を出し、辺野古移設の環境アセス提出の強行や高江のMV22オスプレイ基地の新設、TPPへの参加、また消費税の増税を先食いした来年度予算の提出、武器輸出の緩和などの、平和と国民生活破壊にまっしぐらのようです。

県平和委員会は核兵器や戦争のない世界をめざし、国民生活の破壊を許さない草の根からの取り組みを、皆さんとともに進めます。

ともに頑張りましょう。

新年の抱負

代表理事・伊達 郷右衛門

秋の宣伝チラシと新聞意見広告を見た方から平和委員会に入りたいと連絡があった。励ましや抗議めいた電話は毎年数本あるが入会申し出では今までになかった。10年来の草の根運動が根付いて来たのか。そう言えば去年はマスコミもわれわれの運動を随分取り上げるようになった。私たちが毎年取り組んでいる、百里の初午まつり・5月の憲法フェスティバル・夏の戦争展・秋の宣伝そして各平和の会の地域での多彩な活動は、県民の人々の目にとまり理解・支持されてきているように見える。私たちの会ほど一人ひとりが力を合わせて運動を進めている平和団体は他あるでしょうか。この事に誇りと確信をもっていいのではないのでしょうか。その確信は仲間づくりの力に転換されていくはずです。

結成されて20年以来、運動・組織・財政の3本柱を運動の基本に据えてきました。今年は運動と組織、組織と財政の関係をみんなと知恵を出し合っていきたい。そして「こんなに運動をしてるんだから、もっと仲間が増えてもいいような」というような状況をつくり新しい事務局長を励ましていきたいと思います。

次号(NO.614)も、1/15号と1/25号の合併号となります。宜しくお願い致します。

2011年度の「平和7イン」用の茨城県平和委員会のシールをつくりました。

東海第二原発の再稼働を許さず、廃炉に！



平和7イン 茨城県平和委員会

平和新聞

2011年12月25日・2012年1月5日

1975号 (毎月5,15,25日発行)

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
(郵送料月額120円) 電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

平和かわら版 平和新聞茨城版 No.613 合併号

2011.12/25・2012.1/5
発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

○新春随想○

「上を向いて
歩こう」

~~~~~

水戸西平和の会  
松原 日出夫



【花の開きがおおきい「琉球寒緋桜」】

日野原重明先生（聖路加国際病院理事長）は、私が尊敬する方の一人です。先生が、朝日新聞（be版）に掲載している随想で「10年後に、安保条約をなくす」会をつくって活動していることを知り、思わず（うーん）と唸ってしまいました。100歳にもなる先生が、10年先の目標に向かって活動しているのですから・・・

去年は、水戸の集会で、県平和委員会元会長の五十嵐武夫会長さんに何度かお目にかかりました。私より上の大先輩です。若々しい笑顔を見る度に、私は「元気」を戴くことができました。

私たちの会にも、尊敬する方がいます。私より一回り以上も年上の、96歳になる安蔵テルさんです。テルさんは、戦争中、若い特攻隊員の母親代わりとなり、その特攻隊委員の死の出撃を見送った、悲しい体験の語り部として、いまでも活動しています。昨年も、はるばる取手の「平和の集い」に出向いて、体験を語っています。

尊敬するこの上の方たちと接するうちに、私は、（私ごとき若輩が、年寄りの面などするのは、まだまだ早い）と思うようになりました。

“東海原発を廃炉に”は、年を越えた運動になりました。原発は、放射線を長期間撒き散らす魔物ですから、長生きはごめんです。

“普天間を返せ”のたたかいも、大事になると思います。新しい年を迎えて、私は、今年も「上を向いて歩こう」という思いを新たにしているところです。

○新春随想○

長所と短所

~~~~~

水戸市
高木 誠



【春の野をゆく蒸気機関車】

この世の中は持ちつ持たれつ、人と人協同生活によって、仕事が成り立っている。

この協同生活を円滑に進めるためには、心くばりが必要だけれども、なかでも大事なことは、お互いに周りの人の長所と欠点とを、素直な心でよく理解しておくということである。そして長所をできる限り発揮させてあげるように、又その短所をできる限り補ってあげるように暖かい心で最善の心くばりをするということである。神様ではないのだから、全知全能を求めるのは愚の限りである。人に求めるほうも愚なら、いささかのうぬぼれに自ら心おごる姿もまた、愚である。人を助けて己の仕事が成り立ち、また人に助けられて己の仕事が円滑に運んでいるのである。

この理解と心くばりがなければ、百万の人も単に角突き合わせた烏合の衆に過ぎないであろう。長所と短所と・・・それは人間のいわば一つの宿命である。その宿命を頻りに結びつけるのも、貧困に結びつけるのも、つまりはお互いの心くばり一つに掛かっているのではなからうか。

国の道を開くために決定する主催者自身であることを忘れずに、私たち国民の平和と幸福について大切なことをひとつひとつ丹念に正しく見きわめてゆこう。真の民主主義の国にするために、真実をつかみ偉大な力があることを学びたい。

新聞意見広告を見た人から、このようなファクスが届いています。

◎老朽化の廃炉提案には大賛成です。

以前に旅行の折りに、茨城県の観光名所をどこか知っていますかと話しかけたところ、東海原発と話されてビックリ～（鹿嶋市粟生 男性）

【シリーズ】 わが街・わか会員

笠間市 / 多崎 久子 さん（笠西平和の会）



10月の終わり頃であったと思う。水戸からの帰り、水戸線の電車に乗った。構内からはあまり外の様子は分からないのに、赤いセロファン紙を貼ったようなガラス窓が見えた。「はっ！」と思ってできる限りの窓を見た。やはり赤い。高校生が多数乗り込んできた。みんな携帯電話を取り出して操作している。

列車が動き出した。外の畑や家々が夕日でまっ赤である。夕日は好きで良く見るが、この赤さは何であろう。その美しさと異様に台地を焼き払うのであろうか。それとも「天変地変」の前ぶれなのであろうかとも思ったりした。列車は特急の待ち合わせもあって、笠間には5時40分頃に着いた。その頃はもういつも見る夕焼けに変わっていた。雲も出ていた。

その翌日、雨が降った。自然現象は理に叶っていることを改めて考えさせられた。

歓迎！新入会員のみなさんです。
宜しくお願ひします。

.....

- 立原 勝男 さん（鹿嶋市）
- 石川 直方 さん（石岡市）
- 守山 猛 さん（県外）

*ともに平和の声をおおきく広めて生きましょう！

各平和の会(平和委員会)のみなさん一人ひとりの力で、月5名の仲間づくりを実現いたしましょう。